

青森県…リグーリア州（イタリア共和国）

Liguria, Italia

1 提携年月日 平成14年5月7日（友好協定書調印の日）

2 州の概況

リグーリア州は、イタリア共和国の北西部に位置し、西はフランス共和国と接している。面積は、青森県の約56%で、人口は約161万人（2009年現在）、州都はジェノヴァ市である。北緯約44°に位置しているが、地中海性気候のため、冬期間でも温暖な気候である。ジェノヴァはイタリア最大の港湾都市であり、金属、機械工業が盛んで、ミラノ、トリノと結んで、イタリアの工業三角地帯を形成している。

農業では、オリーブオイルやワインのほか特に花卉栽培が盛んで、国内総生産の約50%を占めている。

また、リグーリア州の250kmにも及ぶ美しい海岸線はリヴィエラ海岸と呼ばれており、その海岸沿いのポルトヴェネーレ及びチンクエッテッレとその小島群の2地域が世界遺産に登録され、風光明媚な文化的景観が世界的に有名である。

3 友好提携までの経緯

教員海外派遣事業において青森県団がイタリア共和国リグーリア州を訪問したことを契機として交流が始められた。

平成10年7月の文化観光立県宣言記念式典に同州教育専門官（州知事代理）を招待した際に、本県とリグーリア州の双方から文化観光・芸術等、幅広い分野での交流の提案がなされた。

これを受け、平成11年度に本県から職員を派遣し交流の可能性を調査するとともに、リグーリア州からは州政府関係者が来青し事務レベル協議と本県視察を行った。

平成12年度には、文化芸術・農業分野について専門的観点からの調査や交流推進に向けた事前協議を実施したところ、文化・芸術交流、そして花卉の試験研究交流などの可能性が見出された。

平成13年度には州政府代表団の訪問を受け、関係者との協議及び県試験研究機関等の県内視察を実施し、その際同州から友好協定締結の意向が示され、平成14年5月7日の友好協定締結に至った。

4 交流の現状

リグーリア州とは、文化・芸術、農業、教育、商業経済・観光の各分野での交流を進めることとしている。平成16年度は、本県とリグーリア州の友好の花であるカーネーション「あおもり」の県内公共施設等での展示、全国の高校生によるファッション甲子園でのリグーリア州高校生の作品展示、リグーリア州からスローフード活動家及びシェフを招へいしてのスローフードを通じた食文化の交流、イタリア語の翻訳・通訳、イタリア文化の紹介をするイタリア人国際交流員の招致などの事業を行った。

平成19年度には、県内の民間団体の訪問団が、現地の団体と交流活動を行った。

5 交流の主な動き

平成10年 7月	文化観光立県宣言記念式典にリグーリア州教育専門官（モリー州知事代理）を招待した際、両県州より幅広い分野での交流が提案される。
平成11年 9月	交流可能性現地調査を実施し、文化芸術や農業等の分野において、本県の範となりうる可能性が見出される。
平成12年10月	リグーリア州交流パイロット事業を実施し、文化芸術や農業等の分野について専門的観点から調査・情報交換を行う。
平成13年 4月	リグーリア州政府代表団10名が来県
平成14年 5月	リグーリア州と友好協定を締結（青森市）
5月	「リグーリア州フェア」の開催（青森市）
平成15年10月	青森空港発着のチャーター便を利用した「青森県・リグーリア州友好の翼」により、県民約300人がリグーリア州を体験するとともに、同チャーター便により副知事を団長としたミッション団がリグーリア州を訪問し、具体的交流について協議を行う。
平成16年10月	リグーリア州からスローフード活動家1名及びシェフ2名を招へいし、スローフードを通じた食文化の交流を行った。
平成19年10月	県内の民間団体代表者等19名による訪問団が、リグーリア州を訪問し、現地の団体と交流活動を行った。